

授業科目	観光事業特講 Tourism Business			担当教員	城本 高輝		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	1・2年／後期	必修・選択	選択
授業のねらい							
<p>観光事業をめぐる諸問題に関し、①新型コロナウイルス感染拡大の影響による現状を把握する。②観光事業の中核を担う旅行業の現状と将来の方向性を理解し、観光立国や地域貢献に対応する視点を修得する。③さまざまな観光事業を検討する際に必要なマーケティングの視点を修得する。④「観光地経営」、「観光事業の革新と再構築」について学び、地方創生の観点から注目される「DMO」について検討する。</p> <p>なお、大学院では、問い（研究テーマ）は教員が与えるものではなく、自分自身で見つけるものである。よって、第1回目の講義で受講者の関心事項について確認し、その後の講義はそれを踏まえ柔軟に進めていきたい。</p>							
観点	学生の授業における到達目標			評価手段・方法	評価比率		
関心・意欲・態度	授業内で自分の意見を発言することができる。			授業への参加態度	10%		
思考・判断	観光事業の考え方をを用いて、論理的な発言をすることができる。			討議の参加態度	30%		
技能・表現	データを分析し、文章を自分の言葉でまとめる力をつけ、自分の意見を論理的に発表できる。			レポート プレゼンテーション	20% 10%		
知識・理解	専門用語を用いて観光事業について説明することができる。			レポート プレゼンテーション	20% 10%		
出席						受験要件	
合計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
レポート（40%）、プレゼンテーション（20%）、討議の参加態度（30%）、授業への参加態度（10%）により総合的に評価する。							
授業の概要							
観光事業の歴史や特徴と今後の展開について、理論研究と討議を中心に進める。新型コロナウイルス感染拡大による影響についての検討も行う。							
教科書・参考書							
<p>教科書：特に定めない。必要に応じ講義時にプリント、レジユメ等を配布する。</p> <p>参考書：必要に応じ授業時に指示する。</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
日本の観光全般の動向に注意を払い、日々の報道（特に、新型コロナウイルス感染拡大）に注目し、問題意識を持って授業に臨んでほしい。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	観光と旅行業再考 (1)	国の「観光立国」政策の中で、観光事業全般が占める位置づけと旅行業の関係を、討議を通じ再確認する。	予習：日本の観光現状把握 復習：産業毎の問題点把握
2	観光と旅行業再考 (2)	「観光立国」の中心となるインバウンド事業と日本の旅行業の現状を、討議を通じ再確認する。	予習：インバウンドの現状把握 復習：インバウンドの実態整理
3	旅行業の現状把握 (1)	2020年新型コロナウイルス感染拡大による日本の旅行業界の現状を、業界の歴史的な発展と展開を含め理解する。	予習：戦後日本の旅行業史の再確認 復習：問題点の確認
4	旅行業の現状把握 (2)	旅行業におけるIT化の進展が、現代旅行業に与える影響、問題点と事業運営に関し理解を深める。	予習：店舗型営業とWEB販売について考える 復習：今後方向性の予測
5	旅行業の現状把握 (3)	少子高齢化やAIの浸透といった21世紀中盤に向けた社会環境の中で、旅行業界が今後どのように展開して行くのかに関し、討議を通じ理解を深める。	予習：旅行業の勝利に関し予測する 復習：今後方向性の確認
6	マーケティングの基礎	マーケティングの定義について学び、観光事業で注目すべきマーケティングの視点について考察する。	予習：配布資料を熟読する 復習：専門用語の確認、定義の把握
7	サービス・マーケティング	サービス産業の特徴とサービス・マーケティングのマネジメント戦略について考察する。	予習：配布資料を熟読する 復習：サービス・マーケティングの特徴の把握
8	プロモーション	価値提案のプロモーションについて、マーケティング・コミュニケーション要素を考察する。	予習：配布資料を熟読する 復習：プロモーション要素の整理
9	ポジショニング	競争市場でのポジショニングについて、観光事業の事例から考察する。	予習：配布資料を熟読する 復習：ポジショニング戦略策定における課題の整理
10	統合型マーケティング・コミュニケーション (IMC)	統合型マーケティング・コミュニケーションの特徴について考察する。	予習：配布資料を熟読する 復習：IMCの特徴と実施時の課題の整理
11	地域観光協会の旅行業取得の現状と課題	平成19年の旅行業法改正後、旅行業を取得する観光協会が全国で増加している。これらの経緯や現在の取組みについて考察する。	予習：旅行業法・約款について予習する 復習：観光協会の課題抽出
12	観光地経営の基本的な視点	「企業活動」と「まちづくり」を有機的に結び付け、観光地全体をマネジメントしていく「観光地経営」の考え方を文献から学ぶ。合わせてそれを実現するための8つの視点から具体的な事例を分析する。	予習：配布資料を熟読する 復習：観光地経営の論点整理
13	観光事業の革新と再構築による観光地の魅力づくり (1)	観光事業の革新と再構築による観光地の魅力づくりについて、観光事業推進組織と地域内ネットワークについて、先進的な事例から考察する。	予習：配布資料を熟読する 復習：観光事業推進組織の構成員を整理
14	観光事業の革新と再構築による観光地の魅力づくり (2)	観光事業の革新と再構築による観光地の魅力づくりについて、地域経営の視点から組織的に観光地を革新するスキルを持つ「観光地経営専門家」について考察する。	予習：配布資料を熟読する 復習：観光地経営専門化育成の課題整理
15	日本型 DMO	地方創生により関心が高まる中、「DMO」と呼ばれる観光地域づくりの分野横断型組織の導入が検討されている。これまでの論点を元に、DMOについて考察する。	予習：配布資料を熟読する 復習：日本型 DMO の特徴の整理